

- 1 主題名 信頼し合える友達 内容項目B－(10) 友情、信頼 教材「陽子、ドンマイ！」
- 2 指導の構想

**【何ができるようになるか】(総合単元的なねらい)**

**「自分を高める」**

- ・修学旅行の目標の達成のために必要な役割を考え、自分の役割に責任をもって活動することができる。(自分で決める力)
- ・目標の達成に向けて、学んだことを伝えたいという思いをもち、粘り強く学習に臨むことができる。(やり抜く力)

**「人とよりよく関わる」**

- ・友達と支え合いながら協働的にやり遂げることを通して、協力することや自他の考えを尊重する心をもつことができる。(多様性の尊重)

**【何を学ぶか】(主題の価値)**

本主題は、男女の隔てなく助け合い、仲間として認め合うことの大切さが分かり、自分も周りの友達と信頼し合える関係をつくっていかうとする心情を育てることをねらいとしている。友達関係は最も重要な人間関係の一つであり、友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向付けられることも少なくない。

よりよい友達関係を築くには、互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合い、信頼感や友情を育てていくことが大切だということを感じさせたい。

**【本教材を通して】**

本教材は、一般に男のスポーツと思われている野球に憧れる女の子の自分の夢を叶えようとする姿、それを励ます周囲の仲間の温かさに触れることができる。友達と仲良く協力し合いながら生きていくことのよさを知り、互いを大切に思う心を育みたい。

**【どのようにして学ぶか】**

**総合の単元の流れ [単元計画 (3 1時間)]**

**(1) 目標をもつ (2時間)**

まず、戦争や長崎・広島における原子爆弾投下について、なぜ起こったのか、どのような被害があったのか概要を知り、戦争や原子爆弾の恐ろしさに触れる。平和な世界にしたいという意欲から、戦争についてより詳しく知りたいという探究課題をもつ。

**(2) 実践する (20時間)**

次に、修学旅行での平和学習に向けて、班や係ごとに戦争に関することについての調査活動を進める。修学旅行において、男女で編成された班で実際に平和資料館やフィールドワーク等で戦争に関するものに触れる活動を通して、戦争の恐ろしさや平和の尊さ、命の大切さについて考える。

**(3) 振り返る (9時間) 【本時含む】**

最後に、修学旅行で学んだことを自分たちの生活に置き換え、平和な世界を築くために自分たちに何ができるかを考え、それを身近な人々に発信していく。

**【児童の実態】**

本学級の児童は、2年生から単学級ということもあり、人間関係が固定化されており、仲のよい友達には対しては、学校生活全般を通して関わる事ができている。しかし、それ以外の友達に対してはあまり関わらずにきている。総合的な学習の時間「長崎から未来へ」において、班に分かれて長崎の町を巡るフィールドワークの活動やハウステンボスでの英語体験活動など友達と関わりながら行う活動を行う。これらの活動を通して、友達とよりよく関わって生活するためには、友達と協力し、助け合うことの必要性を理解し、自他を尊重しながら温かな関係を築くことの大切さに気づかせたい。

### 3 本時

#### (1) 目標

- 友達と信頼し合える関係をつくるには、男女の隔てなく助け合い、仲間として認め合うことが大切だということに気づき、自他を尊重しながら協力し合っていこうとする心情を育てる。

#### (2) 準備

- ①アンケート結果 ②学習プリント

#### (3) 展開

過程	学習活動・児童の反応	指導の手立て(○)と評価(◇)
導入 10分	<p>1 本時のめあてをつかむために、現在の学級の状態について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲がよい友達とは協力して生活している。</li> <li>・仲がよい友達以外とは関わりは少ない。</li> <li>・誰とでも仲良く関わることのできるクラスにしたい。</li> </ul>	<p>○ 道徳的価値への方向付けを行うために、事前に学級の友人関係に関するアンケートをとって集計しておき、集計結果をもとに学級の状態を話し合うようにする。</p>
	(めあて) 友達と仲良く協力する心について考えよう。	
展開 25分	<p>2 教材「陽子、ドンマイ！」をもとに、信頼について考え、交流する。</p> <p>(1) 周りのチームメイトのよい行為について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陽子を受け入れた。</li> <li>・素振りの練習に付き合った。</li> <li>・打ち方のアドバイスをした。</li> <li>・陽子を励ました。</li> </ul> <p>(2) チームメイトがどうしてそのような行為ができたのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陽子に野球を上手になってほしいから。</li> <li>・陽子にヒットを打ってほしいから。</li> <li>・チームを強くしたいから。</li> </ul> <p>(3) 陽子に対するチームメイトの関わり方から学んだことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な考え方を大切にする。</li> <li>・友達の頑張りやよさを認める。</li> </ul>	<p>○ 教材についての状況把握を促すために、事前に教材を読ませておく。</p> <p>○ チームメイトのよい行為について様々な視点から引き出されるように、状況に応じて意図的に指名する。</p> <p>○ チームメイトの行動がチーム全体により影響を与えていることに気づくように、それぞれの行為の特徴毎に板書を分類・整理する。</p> <p>○ 行為を支える心情について補助発問を行う。</p> <p>○ より多くの考えを出すために、個人で考える時間を設けた後、少人数での交流の場を設定する。</p>
終末 10分	<p>3 本時の自己評価をして感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行の活動では、友達と協力することを意識できていた。</li> <li>・日頃の学校生活でも協力している場面がある。</li> <li>・自分の周りにも友達と協力できている人がいるから、自分も意識していこう。</li> </ul>	<p>○ 道徳的実践意欲を向上させるために、修学旅行の活動で協力している姿や学校生活で友達と協力している姿を紹介する。</p> <p>◇ 修学旅行での平和学習や自分たちの身近な平和の構築などにつなげて、これからの行動を振り返っているか。〈学習プリント分析〉</p>